

第4章 ハケ遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差 2 m 程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は 14 ～ 16 m で、遺跡の範囲は南北 360 m、東西 160 m 以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976 年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2021 年 4 月現在 34 ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）と、2014 年に第 16 地点の発掘調査で、古墳の周溝から 6 世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015 年の第 19 地点でも新たに 3 基の円墳を検出した。本遺跡は便宜上東西に走る道路によって南側からハケ遺跡 A、ハケ遺跡 B、ハケ遺跡 C と呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。



第 14 図 ハケ遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第15表 ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
76-A	大字中福岡字遠見 1228～2021	1976.9.11～16	306		個人住宅	古墳時代住居跡1、竪穴状遺構、土師器等	A-1次	上遺調、市史資Ⅰ
77-C1	大字中福岡字清見 1480	1977.8.2～27	1,794		宅地造成	縄文時代住居跡5、古代住居跡2、竪穴状遺構、炉跡、土坑、墨書土器等	C-1次	ハケC、市史資Ⅰ
78-B1	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165		個人住宅	遺構なし、縄文土器	B-1次	上埋Ⅰ、市史資Ⅰ
78-B2	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360		貸家	炉跡、土坑、縄文土器	B-2次	上埋Ⅰ、市史資Ⅰ
79-B3	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166			土坑、縄文土器	B-3次	上埋Ⅱ、市史資Ⅰ
82-B5	大字中福岡字遠見 1228-46	1982.5.10～17	165			溝、縄文土器	B-5次	上埋Ⅴ
87-C2	福岡3-2068-1・2	1987.4.16～5.29	1,900		倉庫付住宅 改築	縄文時代住居跡11、古代住居跡4、古代掘立柱建物跡1、土坑、縄文土器、土師器等	C-2次	上埋Ⅹ、市史資Ⅰ
88-C3	福岡2-2-1	1988.8.15～20	627		駐車場	縄文時代住居跡4、古代住居跡2、縄文土器等	C-3次	上埋11、市史資Ⅰ
88-C2	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60		擁壁改修	縄文時代住居跡2	C-試	上埋11、市史資Ⅰ
90-C4	福岡3-2069-1の一部 (旧福田屋敷地内)	1990.6.20～9.6 H3.1月末	500		河岸記念館 管理棟・ 庭造成	旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処・物置跡・粘土遺構)、	C-4次	H2上社、市史資Ⅰ、上埋17
		1994.6.10～1.31	54			縄文時代住居跡8、古代住居跡3、土坑、溝、縄文土器、土師器等		
93-C6	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6～18	141.91		個人住宅	土坑、縄文土器	C-6次	上埋16
00-1	福岡3-1184-8	2000.1.26	100		個人住宅	遺構遺物なし	C-試(2)	上埋22
7	福岡3-2	(2006.7.10～22)	666	(130)	宅地造成	縄文時代住居跡3、古代住居跡4、	C-7次	市内3・13
	福岡3-1479-1	(2013.8.10・11) 2013.8.21～11.11	712.35	(34.7) 520	分譲住宅	集石土坑、土坑、溝、井戸、縄文土器、須恵器等		
8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	(11)	個人住宅	縄文時代住居跡1、溝、縄文土器等	C-8次	市内6
9	福岡3-1257-7、 1259-1	(2010.2.2～4)	120	(30)	個人住宅	土坑、縄文土器	C-9次	市内8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	(37)	個人住宅	溝、遺物なし		市内14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21・22)	157.7	(30)	分譲住宅	屋外埋甕、縄文土器		市内14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	(22)	分譲住宅	ビット、縄文土器等		市内15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.3)	183	(2.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	(15.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8・9)	184.09	(64.7)	分譲住宅	土坑、縄文土器片		市内20
16	福岡3-1254-7・14・ 17	(2014.8.11～9.2)	68	(26.25)	分譲住宅	古墳1、人物・円筒埴輪、縄文土器等		市内20・21
		2014.9.3～9		19.36				
17	福岡3-1219-1・2	(2014.9.26～30)	98.58	(50.4)	分譲住宅	溝、縄文土器等		市内20
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.12.4～10)	510.67	(107.85)	分譲住宅	縄文時代住居跡1、土坑、溝、縄文土器		市内16・20
		2015.1.6～16		64				
19	福岡3-1222-1、 1223～1225、1255	(2015.4.2～5.11・ 10.13)	2,296	(572.6)	宅地造成	古墳3、礎石建物跡1、溝、ビット、象形・円筒埴輪、縄文土器等		市内21・22
		2015.6.2～9.19		885				
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14～16) 2015.10.29・30	375	(90.4) 33	分譲住宅	堀跡、土坑、火工廠境界杭、ビット、土師器		市内21
21	福岡3-1193-4・15、 2069-10	(2016.1.5)	101	(20.2)	個人住宅	遺構遺物なし		市内22
22	福岡3-2061-3の一部	(2016.12.26～ 2017.1.19・9.11) 2017.1.25～2.8	249.32	(116.65) 40.5	はけ自治会 集会施設	古代住居跡1、土坑、ビット、縄文土器等		市内24
23	福岡3-1183-1の一部	(2017.7.18)	137	(14.27)	個人住宅	ビット、縄文土器		市内24
24	福岡3-1178-1、 1179-1、1180-1、 1181-1、2066-2、 2067	(2017.7.19～27) 2017.7.28～8.7	1,702.15	(446) 63.75	宅地造成	縄文時代住居跡1、竪穴遺構、土坑、集石土坑、ビット、縄文土器等		市内23
25	福岡3-1184-5・6	(2018.6.12)	297	(68.27)	分譲住宅	遺構遺物なし		市内25
26	福岡3-1228-48	(2019.6.25・26)	135	(41.13)	分譲住宅	土坑、溝、須恵器、紡錘車		市内25
27	福岡3-2061-2	(2020.3.25～27)	226.22	(61.8)	共同住宅	遺構なし、縄文土器等		市内25
28	福岡3-1363-7	(2020.9.10・11)	157.79	(46.75)	事務所	溝、縄文土器等		市内26

II ハケ遺跡第28地点

(1) 調査の概要

調査は自社社屋建設に伴うもので、原因者より2020年9月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2020年9月10・11日に試掘調査を実施した。

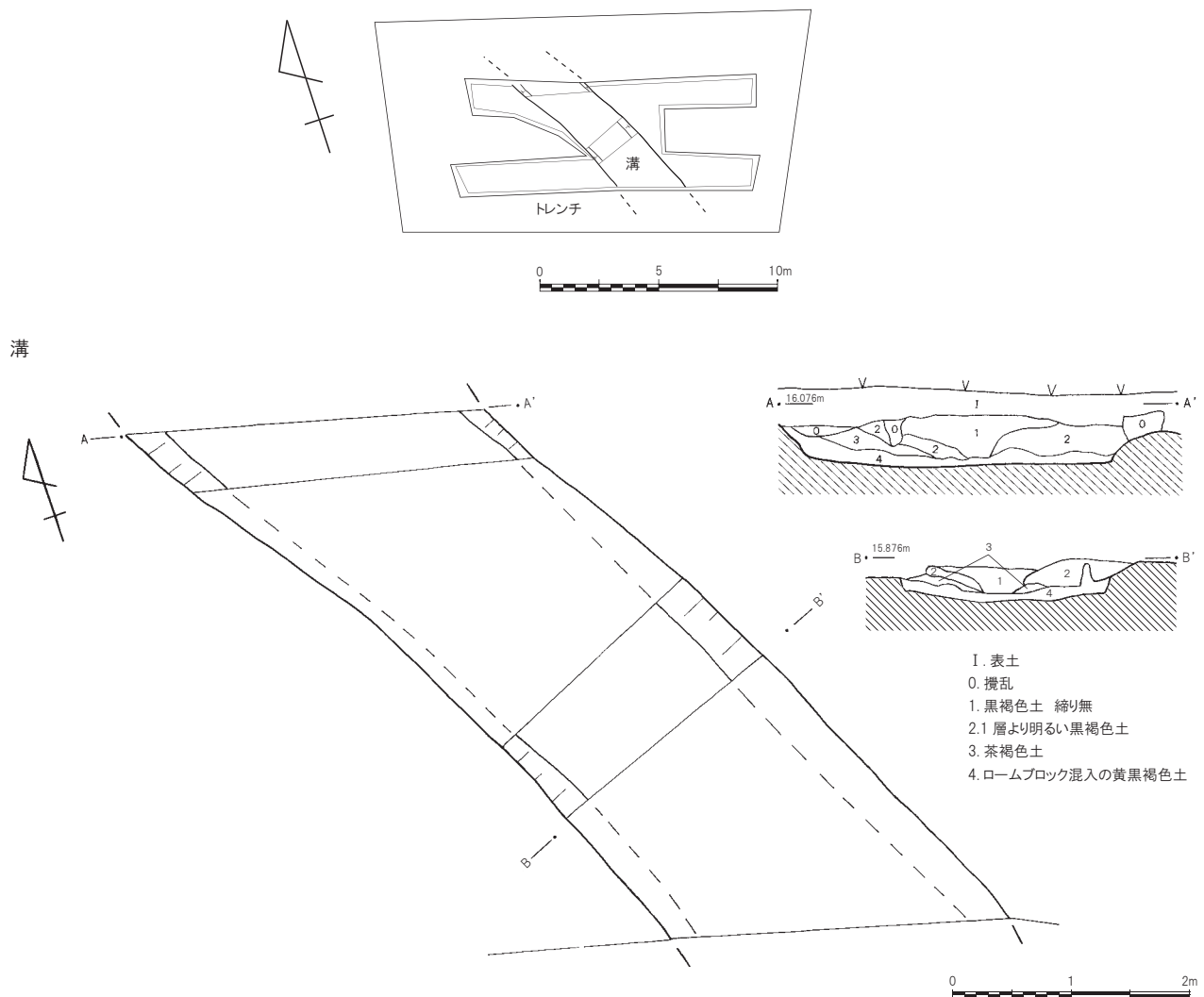
試掘調査は幅1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30cmである。

調査の結果、時期不明の溝1本を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 溝

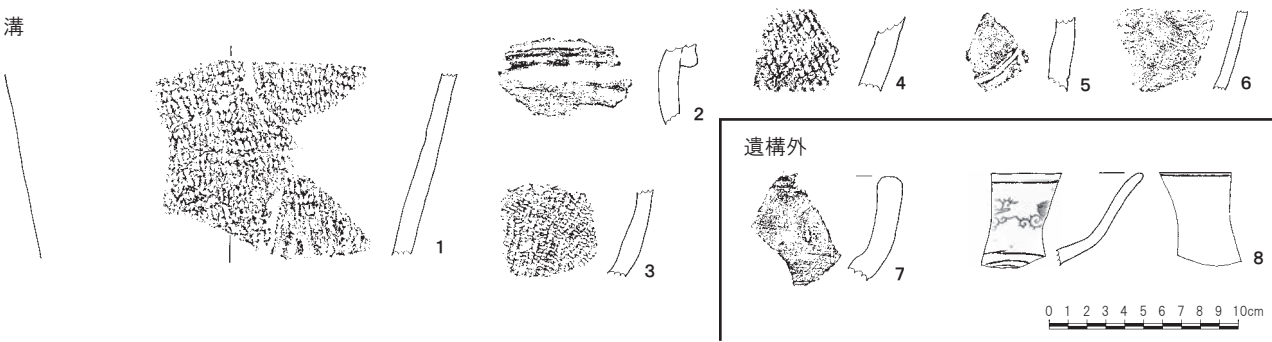
調査区中央部で検出した。走行方向はほぼ南北方向を指向する。断面形態はU字状を呈し、遺構の規模は上幅212cm、下幅178cm、深さ32.8cmを測る。底面は比較的平坦である。本地点の北西に位置する第10地点の調査でも同様の溝が検出されており、規模や走行方向から同一であると考えられる。覆土中より縄文土器片が数点出土しているが、溝の時期を示すものではない。



第16図 ハケ遺跡第28地点遺構配置図(1/300)、溝(1/60)

②出土遺物

溝からは縄文土器片、遺構外では近世遺物が出土した。詳細については第 17 図及び第 16 表に掲載した。



第 17 図 ハケ遺跡第 28 地点出土遺物 (1/4)

第 16 表 ハケ遺跡第 28 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	技法・文様・備考	時期・型式
第 17 図 -1	溝	縄文式土器	胴部片、2 段の LR	縄文前期後葉
第 17 図 -2		縄文式土器	胴部片、断面正方形の突帯を持つ、胎土に雲母片含む	縄文中期前葉
第 17 図 -3		縄文式土器	胴部片、無節縄文	縄文前期後葉
第 17 図 -4		縄文式土器	胴部片、単節縄文、沈線、無文帯	縄文前期後葉
第 17 図 -5		縄文式土器	胴部片、無文部	縄文中期後葉
第 17 図 -6		縄文式土器	胴部片、無文部	縄文前期後葉か
第 17 図 -7	遺構外	土製火鉢	土師質、内外面煤付着	江戸時代
第 17 図 -8		磁器碗	轆轤成形、コバルト、型紙刷	1880 年代～

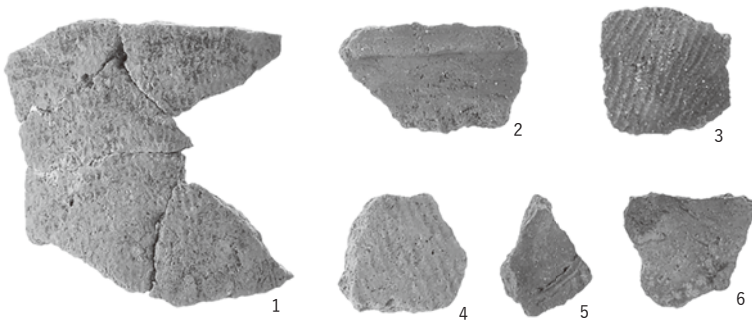


ハケ遺跡第 28 地点堀跡



ハケ遺跡第 28 地点調査風景

堀跡



遺構外



ハケ遺跡第 28 地点出土遺物